

## 1 住みよさを感じるまち

### \*\*\* 重点 \*\*\*

項目	主な取り組み
災害に強いまちづくり	○防災訓練の充実 ○避難所環境の整備
持続可能なインフラ整備	○道路橋梁整備の充実 ○上下水道施設の老朽化対策と長寿命化
デジタルを活かした情報発信	○SNSを活用した行政情報発信 ○地域コミュニティの情報発信ツールの構築

### ——— 現状と課題 ———

#### 環境保全

##### 自然環境

本町は国立公園大山、一級河川の日野川や豊かな森林などの美しい自然環境に恵まれています。また、本町の約7割を占める森林は、水源涵養や山地災害の防止など多面的な機能を持ち、生活に密着した重要な役割を果たしています。

豊かな自然を守るためにも、林業全体の停滞への対応や不法投棄、不秩序な開発による自然環境破壊への対応が必要です。

##### 生活環境

可燃ごみは、南部町・伯耆町清掃施設管理組合クリーンセンターにおいて焼却処理を行い、資源・不燃ごみ等については、鳥取県西部広域行政管理組合リサイクルプラザにおいて再資源化に取り組んでいます。可燃ごみの減量化、再資源化を図るため、分別回収を行い、可燃ごみ、不燃ごみとも排出量が減少傾向にあります。

し尿については、鳥取県西部広域行政管理組合米子浄化場において処理しており、下水道の整備に伴い、処理量は減少しています。

愛護動物の飼育については、依然として苦情が発生し、特に猫に関する苦情が増加傾向にあります。その対応として猫の不妊・去勢手術費用に対する助成や捕獲器、猫よけ器の貸し出し、地域猫活動への支援等の一層の取り組みが求められています。

##### 水資源

本町は、大山に育まれた良質で豊富な水資源を有しています。生活水量は減少傾向にある一方で事業活動に伴う水需要が見込まれており、使用水量が増加する可能性があります。この需要増に対し、水資源の安定供給体制の維持を前提とした地下水保全への留意が求められています。

### Ⅲ 基本計画

#### Ⅰ 住みよさを感じるまち

##### 脱炭素

日本では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を目指しており、鳥取県も2050年脱炭素（二酸化炭素排出実質ゼロ）宣言をしています。本町においても環境や暮らしと調和した再生可能エネルギーの利用を促進するとともに、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

---

### 生活基盤

---

##### 道路網

町内には国道181号や主要な県道を基軸とした幹線道路網により、広域的な道路交通網を確保しています。これらの幹線道路に接続する町道も体系的に整備されています。また、高速道路網については、中国自動車道に直結する米子自動車道が町域を縦貫し、溝口インターチェンジと大山高原スマートインターチェンジの2つのアクセスポイントを有しています。今後も安全かつ安定した交通機能確保のため、維持管理・整備を行っていく必要があります。

農道・林道については、概ね整備が完了しておりますが、今後、老朽化への対応が必要です。

##### 上下水道

上水道は、地元管理施設を除くほぼ町内全域に普及しており、安定した生活基盤を形成しています。一方で相当期間が経過した老朽管路や老朽施設があることから、計画的に更新し、安全安心な水道水供給を維持していくことが重要となっています。

下水道は、快適で衛生的な生活環境の実現と公共用水域の保全のため、公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合排水事業、浄化槽整備事業による運営を行い、公共用水域の水質保全や生活環境の改善による公衆衛生の向上を図っています。

下水道事業のうち、公共下水道事業、農業集落排水事業及び小規模集合排水事業については令和2年度から、浄化槽事業については令和6年度に公営企業会計（地方公営企業法 財務適用）へ移行し、今後より適正かつ効率的な管理運営を図る必要があります。

##### 地域情報化

デジタル社会の実現に向けて、第5世代移動通信システム（5G）の普及、健康保険証などマイナンバーを活用した住民サービスが各分野で広がっています。

本町においても、行政手続きのオンライン化や住民票などのコンビニ交付サービスの導入など、デジタル化を推進してきました。

今後、少子高齢化や人口減少といった課題に対応するため、デジタル技術を行政の効率化にとどまらず、行政と地域住民との情報共有手段の充実や地域活動の維持・活性化にも活用する必要があります。すべての人がデジタル化の恩恵を受けら

### Ⅲ 基本計画

#### Ⅰ 住みよさを感じるまち

れるよう、多様な課題を解決して暮らしの豊かさを実感できる社会を目指すため、引き続き検討していく必要があります。

#### 住宅・公園・緑地

##### <住宅>

住宅地の供給は、民間事業者による宅地開発および集合住宅の建設など、継続的に展開されています。特に大殿地区においては、隣接する米子市に近接する立地特性から住宅地に対する需要が高い状況にあり、既存住宅地と調整を図りながら、主に民間事業者により供給が展開されています。なお、宅地開発に際しては、土地利用基本構想や開発指導要綱に基づき、無秩序な開発防止と周辺環境との調和を図るため、的確な指導を実施しています。

その一方で、空き家が増加傾向にあり、管理されていない空き家が157軒（令和7年12月時点）もある状況となっています。

##### <公園・緑地>

本町には、総合スポーツ公園、別所川溪流植物園、ささふく水辺公園、町民の森などの豊かな景観や自然を生かした公園が整備されており、町内外の住民に広く利用されています。そのほかに、住民の憩いのスペースやコミュニティ活動の拠点としての公園を整備されている集落もあります。

##### <地籍調査>

地籍調査は、筆ごとの土地について所有権、地番、地目、面積を調査し、その調査結果により地図及び簿冊を作製しています。伯耆町では平成2年度から実施しており令和6年度末で全町域の約26.6%が完了しています。なお、町全域が完了には相当年数がかかる見込みです。

#### 消防・防災

##### <消防>

鳥取県西部広域行政管理組合による広域消防体制を基盤とし、各地区に配備された消防団が消防防災活動、自主防災組織の育成、強化等に取り組んでいます。

一方で地域の安全を守る消防団を維持していくためには団員の高齢化や若者の消防団離れによる定員割れ、消防車や資機材の老朽化などの課題への対応が必要です。

##### <防災>

昨今多発する災害を教訓とし、住宅耐震化を促進するなど災害に強いまちづくりに取り組んでいます。また、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域での助け合い精神のもと防災訓練等を通じて、日頃から防災意識の向上に努める必要があります。

#### 防犯・交通安全・消費生活

##### <防犯>

本町の刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、特殊詐欺対策をはじめとした

### Ⅲ 基本計画

#### Ⅰ 住みよさを感じるまち

様々な防犯広報や地域安全活動、青少年保護のためのパトロールやあいさつ運動等による啓発を行っています。

#### <交通安全>

本町における近年の交通事故件数は約 10 件となっており、令和 2 年と令和 3 年には死亡事故が 1 件ずつ発生し、高齢者の関与割合が高い状況となっています。

交通安全を確保するには、啓発により世代・交通主体別に応じた安全意識の向上を行うとともに、交通安全施設の整備を行っていくことが必要です。

#### <消費生活>

近年、情報通信技術を活用した新しい商品、サービスの提供や取引方法の多様化により、消費者の選択肢が広がり、消費生活が豊かになった反面、取引方法や内容をめぐる新たな消費者トラブルが発生しています。中でも消費生活に関する知識が不足しがちな若年者や悪徳事業者や詐欺犯罪者の標的となりやすい高齢者の消費者トラブルは大きな社会問題となっています。

#### 公共交通

公共交通機関としては、米子市と岡山市を結ぶ J R 伯備線が南北に通過し、岸本駅と伯耆溝口駅の 2 つの駅から利用できます。また、関西方面の都市を結ぶ高速バス、及び米子～溝口間の広域生活路線バスが民間バス事業者により運行されています。

本町の「伯耆町型バス事業」は開始から 15 年以上が経過し、高齢者や児童・生徒をはじめ、多くの住民生活の交通手段として定着しています。そのうち、スクールバス利用者は、少子化の影響により徐々に減少、デマンドバス利用者も人口減少による減少に加え、コロナ禍の影響によって、令和 4 年度に年間利用者数が 19,000 人を下回りました。

令和 6 年度は延べ 21,616 人となり、利用者数は徐々に増加し、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。

運行については、運転手不足により現状の運行を維持することが難しくなることが懸念されます。広域生活路線バスについては、利用者ニーズの変化、人口減少により、民間バス事業者だけの努力では継続困難な状況となっています。

## ———— 施策の指針と主な取り組み ————

課題解決に向けて、以下の施策・取り組み等を行っていきます。

施策の指針
○持続可能な地域交通の確保
○スマートシティの実現に向けたデジタル技術の活用検討
○安全で安心して暮らせるまちづくりの推進
○脱炭素社会・循環型社会の実現

### Ⅲ 基本計画

#### Ⅰ 住みよさを感じるまち

分野		主な取り組み	
環境保全	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民参加の自然保護活動</li> <li>○自然との共生意識の啓発</li> <li>○森林施業に対する助成制度</li> <li>○河川水の水質検査</li> <li>○公害防止</li> <li>○不法投棄の防止対策</li> <li>○開発指導と環境保全の誘導</li> <li>○環境美化に関する住民意識の高揚</li> </ul>	
	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広域一般破棄物処理施設整備事業</li> <li>○分別収集の啓発</li> <li>○ごみ減量化、再資源化に向けた啓発活動</li> <li>○紙おむつ燃料化事業</li> <li>○愛護動物適正管理の啓発・支援</li> <li>○町道管理、一斉清掃等ボランティアによる維持管理作業の推進</li> </ul>	
	水資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>○節水の啓発</li> <li>○水源かん養のための森林の保全</li> <li>○地下水保全条例の運用による地下水資源の保護</li> </ul>	
	脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○太陽光発電システム設置補助</li> <li>○公共施設の節電</li> <li>○クールビズ、ウォームビズ運動の推進</li> <li>○低燃費自動車購入の検討</li> <li>○省エネルギーに関する広報活動</li> <li>○学校・事業所での環境教育</li> </ul>	
生活基盤	道路網	町道・広域道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国道181号根雨原バイパス（根雨原～佐川）改良</li> <li>○県道大滝白水線（大滝～大坂）改良</li> <li>○交付金や町補助金による町道の改良</li> <li>○橋りょうの修繕</li> <li>○除草、除雪</li> <li>○町単独補助による町道改良の支援</li> <li>○米子インターチェンジ～蒜山インターチェンジ間の4車線化</li> </ul>
		農道・林道	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単町土地改良事業</li> <li>○単町林業事業（林道）の実施</li> </ul>
	上下水道	上水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水道施設の適切な管理運営</li> <li>○老朽施設改良及び耐震化の促進</li> <li>○適正な料金水準についての検討</li> </ul>
		下水道・農業集落排水等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道施設の適切な管理運営</li> <li>○個別合併処理浄化槽整備事業の整備促進</li> </ul>
地域情報化		<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信向上のに向けたホームページ、CATV、防災無線、SNS等の活用</li> <li>○集落有線に変わる地域コミュニティの情報発信ツールの構築</li> <li>○自治体DXによる行政デジタル化推進</li> <li>○情報関係設備の安定稼働の確保</li> <li>○セキュリティ対策の継続的な強化充実</li> <li>○携帯電話の受信不良、不感地区の解消に向けた事業者への要望</li> </ul>	

### Ⅲ 基本計画

#### Ⅰ 住みよさを感じるまち

分野		主な取り組み	
生活基盤	住宅・公園・緑地	住宅	○開発指導要綱等による地域特性に合った開発事業の指導 ○空き家等対策事業
		公園・緑地	○コミュニティ助成や町補助による公園整備
		地積調査	○地籍調査の推進 ○公図電子化
	消防・防災	消防	○消火栓、防火水槽の整備 ○消防ポンプ自動車の更新 ○消防服、安全装備等消防関係装備の充実 ○消防団員の確保及び育成 ○魅力ある消防団への転換
		防災	○防災訓練の実施 ○災害時要援護者台帳等の作成 ○災害備蓄品の確保及び備蓄倉庫の整備 ○鳥取県被災者住宅再建支援基金の積立 ○土砂災害特別警戒区域内の防災支援 ○防災拠点（避難所、備蓄倉庫、水防倉庫等）の整備 ○住宅の耐震化の促進 ○日野川水系大規模氾濫時の対策事業の推進 ○防災広場の整備 ○防災無線設備の整備 ○自主防災組織活動の充実 ○国、県等による砂防、急傾斜崩壊防止事業の実施
	防犯・交通安全・消費生活	防犯	○広い世代に向けた防犯教育の実施 ○こども110番の家の周知と推進 ○防犯に関する広報（防災無線、CATV） ○防犯灯の設置
		交通安全	○カーブミラー、ガードレールなどの整備 ○高齢者・子供への交通安全教育の充実 ○交通安全の啓発と交通マナー向上 ○運転免許証自主返者への支援
		消費生活	○消費生活相談窓口の設置及び周知 ○職員の専門的な知識の向上（研修への参加等） ○他部署や関係機関（県、警察）との連携 ○地域や学校での消費生活出前講座の開催 ○ホームページ、CATV、防災無線による住民への情報提供及び啓発 ○消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）の設置・開催
	公共交通	○交通事業者への支援 ○利用者ニーズ、実態に応じた運行形態の検討と見直し ○公共交通利用促進のための啓発活動	

### Ⅲ 基本計画

#### Ⅰ 住みよさを感じるまち

### ———— KPI（重要業績評価指数） ————

指標	指標説明	現状	目標
リサイクル率	実際にリサイクルされている割合	33.6% (R6)	35.0% (R12)
自然エネルギーの導入	町の補助で設置された自然エネルギー設備（太陽光発電）の総発電能力量	1,135kw (H17～R6 累積)	1,335kw (H17～R12 累積)
地籍調査事業	地籍調査実施面積	34.3k m <sup>2</sup> (R6)	36.7k m <sup>2</sup> (R12)
水洗化率	下水道水洗化人口 ÷ 下水道普及人口	93.92% (R6)	95.0% (R12)
消防団員数	伯耆町消防団の団員数	139人 (R7.7月)	163人 (R12)
改良路線延長	新たに整備する道路延長 (改良予定路線：4路線)	—	570m/5年
交通死亡事故件数	町内で発生した死亡事故の件数	2件 (R2～R6)	0件/5年
住みやすいまちだと思う人の割合	まちづくりアンケート結果	72.1% (R7)	75.0% (R12)
住み続けたいと思う人の割合	まちづくりアンケート結果	66.7% (R7)	70.0% (R12)

### ———— 関連計画等 ————

- ・ 伯耆町一般廃棄物処理基本計画
- ・ 伯耆町災害廃棄物処理計画
- ・ 伯耆町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
- ・ 道路老朽化修繕計画
- ・ 伯耆町橋梁長寿命化修繕計画
- ・ 伯耆町生活排水処理基本計画
- ・ 伯耆町地域防災計画
- ・ 伯耆町耐震改修促進計画
- ・ 伯耆町空家対策計画
- ・ 第7次国土調査事業十箇年計画